

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第8号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成21年11月7日（土） 14時20分ごろ	
発生場所	沖縄県宮古島市来間前浜港（前浜地区）の岸壁 （概位 北緯24°44.0′ 東経125°15.9′）	
事故等調査の経過	平成22年2月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	水上オートバイ 前川号、5トン未満（登録長2.70m）	
船舶番号、船舶所有者等	296-20395 沖縄、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	乗客1人（頭部打撲及び右踵裂傷）	
損傷	右舷船首き裂及び破口	
事故等の経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、乗客A及び乗客Bを乗せ、遊走を終えたのち、前浜地区岸壁の西方沖で機関を止めた。船長は、乗客Bとともに本船から降りたが、乗客Aが後部の座席から操縦席に移動してスタートボタンに触れたところ、本船は、機関が始動して発進し、前浜地区の岸壁に衝突した。</p> <p>乗客Aは、衝突の衝撃で、落水した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東南東、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の末期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり なし なし</p> <p>本船は、来間前浜港で停留中、船長が、本船から降りる際、キルスイッチを外さなかったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、来間前浜港で停留中、船長が本船から降りる際にキルスイッチを外さなかったため、本船に同乗していた乗客Aがスタートボタンに触れ、機関が始動して発進し、岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>	